

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-21 在宅福祉サービスセンター管理運営事業				タイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門 関連課				57	在宅福祉サービスセンター管理運営事業
主管課	高齢者いきいき課		関連課			
分野名	健康福祉					
目標 (目標値)	二階堂、御成町、台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行い、快適な施設の環境保持を図る					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	54,587千円	50,740千円			
	(国・県)			指標と評価		
	(負担金等)	10,230千円	10,913千円	指標		
	(一般財源)	44,357千円	39,827千円	評価		
	人員配置数	1.2人	1.2人			
	人件費	11,237千円	11,312千円	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	協働の パートナー				目標値	実績値
事務事業 運営経費	総事業費	65,824千円	62,052千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	373円	352円	21年度		
	対象者1人 当りの経費			22年度		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 施設の設備が経年劣化し、管理運営面での修繕にかかる負担割合が大きくなっている。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 建築住宅課が実施した公共建築物定期点検を受け、計画的に修繕を行なうことができた。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 修繕については、発生してから対処しているため、対応が後手になり重大化することがある。適正な維持管理を行うためにも、技術的知識を持った者による定期的な建物点検が課題である。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 引き続き、建築住宅課が周期的に実施する公共建築物定期点検を活用し、不良箇所の把握やそれに対する対応など、計画性を持った維持管理に努める。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	高齢化率の高い本市では、介護サービスの拠点施設は必要であり、今後も経費削減に努めながら、効率的な施設運営に努めていきたい。		評価結果	改善の必要性	在宅介護の拠点施設は、必要である。
B	有			B	有	
課長名		高齢者いきいき課長 比連崎 勝		部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子